

電子情報通信学会 第一種 安全・安心な生活と ICT 研究専門委員会
選奨規程

安全・安心な生活と ICT 研究専門委員会（以下、ICTSSL 研究専門委員会）における「優秀研究賞」「研究奨励賞」「安全・安心ベストプラクティス賞」の選定は、本規程によって行う。

第 1 章 総則

第 1 条 この規程は電子情報通信学会、定款第 5 条の目的に基づき、安全・安心な生活と ICT にかかる学術研究または関連事業の推進および発展を目指し、ICTSSL 研究専門委員会が行う表彰について定める。

第 2 章 選奨の種類

第 2 条 本規程の扱う選奨の種類は、優秀研究賞、研究奨励賞および安全・安心ベストプラクティス賞とする。

第 3 章 優秀研究賞

第 3 条

1. 優秀研究賞は、ICTSSL 研究専門委員会が主催、共催、または、併催する研究会、シンポジウム及び大会において発刊される概要集に掲載された論文の内、特に優秀な論文を掲載した者を表彰する。
2. 表彰基準として、以下を満たす必要がある。
 - ・新規性（既往研究を適正に参照し、提案研究の位置付け・新規部分を明確に示していること）
 - ・有効性（提案研究に対して適切な基準を用いて定量的な評価、もしくは再現性を確保した定性的な評価を実施し、その有効性を示していること）
 - ・適用性（提案研究を適用できる範囲（適用条件等）について考察・説明していること）
 - ・真理追究性（提案研究が安全・安心な生活と ICT に関する情報通信システムの真理追究に大きく寄与し、その影響度が極めて高いと期待できること）
3. 表彰件数は毎年 1 件とする。ただし、委員長の下承が得られた場合は、この限りではない。
4. 賞状と副賞として 5 千円相当の図書カードを授与する。
5. 受賞対象者において、年齢および受賞経験は問わない。
6. 賞状と副賞の盾については、筆頭著者と共著者連名とし、筆頭著者か共著者を代表する著者に授与する。

第 4 章 研究奨励賞

第 4 条

1. 研究奨励賞は、ICTSSL 研究専門委員会が主催、共催、または、併催する研究会、シンポジウム及び大会において発刊される概要集に掲載された論文ならびに論文概要の内、その後の研

究の発展に大きな期待をもつことのできる論文等を掲載した学生および若手研究者を表彰する。

2. 表彰基準として、以下を満たす必要がある。

- ・新規性（既往研究を適正に参照し、提案研究の位置付け・新規部分を明確に示していること）
- ・有効性（提案研究に対して適切な基準を用いて定量的な評価、もしくは再現性を確保した定性的な評価を実施し、その有効性を示していること）
- ・適用性（提案研究を適用できる範囲（適用条件等）について考察・説明していること）
- ・発表技術（説明が分かり易いこと、質問に対する適切な回答ができていること）
- ・将来期待性（提案研究の展開や継続的な推進により、新たな知見や研究課題の導出・社会への貢献等の将来性が期待できること）

3. 表彰件数は毎年数件とする。ただし、委員長の了承が得られた場合は、この限りではない。

4. 賞状と副賞として 5 千円相当の図書カードを授与する。

5. 受賞対象者は表彰時に学生の身分を有する筆頭著者、もしくは、満 35 歳以下の筆頭著者とし、研究奨励賞の未受賞者に限る。

第 5 章 安全・安心ベストプラクティス賞

第 5 条

1. 安全・安心ベストプラクティス賞は、ICTSSL 研究専門委員会が主催、共催、または、併催する研究会およびシンポジウム及び大会において、発刊される概要集に掲載された論文の内、特に安心・安全な社会の実現を目指し、災害現場や社会インフラの保守・管理・運用での実証や事例に関する論文を掲載した者を表彰する。

2. 表彰基準として、以下を満たす必要がある。

- ・新規性（既往研究を適正に参照し、提案研究の位置付け・新規部分を明確に示していること）
- ・有効性（提案研究に対して適切な基準を用いて定量的な評価、もしくは再現性を確保した定性的な評価を実施し、その有効性を示していること）
- ・適用性（提案研究を適用できる範囲（適用条件等）について考察・説明していること）
- ・社会貢献性（提案研究の実証や検証および実装により、安全・安心な社会の実現に対して実践的に大きく貢献した、もしくは貢献が期待できると評価できること）

3. 表彰件数は毎年数件とする。ただし、委員長の了承が得られた場合は、この限りではない。

4. 賞状と副賞として 5 千円相当の図書カードを授与する。

5. 受賞対象者において、年齢および受賞経験は問わない。

6. 賞状と副賞の盾については、筆頭著者と共著者連名とし、筆頭著者が共著者を代表する著者に授与する。

第 6 章 選考方法

第 6 条 優秀研究賞及びベストプラクティス賞と研究奨励賞の表彰選考は以下に定めるところにする。

1. 優秀研究賞及びベストプラクティス賞と研究奨励賞の選考対象期間は毎年 1 月から 12 月と

する。

2. 研究会および大会におけるシンポジウム、一般講演等においては、幹事が投票用紙を添付したメールを研究専門委員会の委員または、それに準ずる者全員及び座長に投票期限を設けて送付し、投票を行う。大会後の研究専門委員会にて、投票結果の集計を行う。なお、投票用紙は様式1とする。

3. 発表者数、論文数、投票者数等の偏りを排除し、選奨の公平性を保つため、投票者は受賞に値する発表および論文のすべてに対して票を投じることができるものとし、投票対象数に対する割合で順位をつけるものとする。また、投票者が聴講していない発表に対しては、技術研究報告等で内容を確認の上投票の対象とすることができる。

4. 投票を公平に行うため、著者および発表者は、自身が筆頭著者もしくは発表者である論文等に投票することを禁止する。

5. 毎年1月から12月までのすべての研究発表に関する投票の結果を、研究専門委員長の指示により幹事、または、幹事補佐が、優秀研究賞、安全・安心ベストプラクティス賞と研究奨励賞に関する投票を集計する。得票数の多い3位までは研究専門委員に公示する。得票数が3点以下しかない場合は受賞者なし、得票数が同数で決着が付かない場合は複数受賞も含めて、研究専門委員長が、得票数に基づき予算の状況を踏まえて、副委員長ならびに幹事と協議の上、各賞の受賞者を決定する。優秀研究賞、安全・安心ベストプラクティス賞については原則各1件、研究奨励賞については、原則上位の3名とする。

6. 優秀研究賞、安全・安心ベストプラクティス賞と研究奨励賞の受賞者より表彰辞退の申し出があった場合には、当該の受賞は取り消すものとし、辞退申し出のあったものを除外し、再度、研究専門委員長が、得票数に基づき予算の状況を踏まえて、副委員長ならびに幹事と協議の上、各賞の受賞者を決定する。

7. 幹事は、各受賞者が決定したら速やかに専門委員および本人に通知するとともに、ICTSSL専門委員会のウェブページにて公示する。

第7章 授賞方法

第7条 優秀研究賞、研究奨励賞および安全・安心ベストプラクティス賞の授賞方法は以下に定めるところにする。

1. 優秀研究賞、研究奨励賞および安全・安心ベストプラクティス賞の授与は、審査対象期間終了後の次に開催する最初の研究会において、研究専門委員長が表彰状および副賞を授与して行う。

2. 優秀研究賞の授賞者は原則として、同研究会にて受賞記念講演を行うものとする。

3. 各賞授賞者の表彰にかかる費用は、必要に応じて ICTSSL 研究専門委員会の委員長、副委員長ならびに幹事が協議し、費用の負担額を決定する。

第8章 その他

第9条 本規程は、必要に応じて、ICTSSL 研究専門委員会による審議の後、研究専門委員長

の判断によって改定することができる。

第 10 条 本規程は、ICTSSL 研究専門委員会のウェブページにて公開する。

付則

1. 本選奨規定は平成 28 年 6 月 14 日に専門委員会により決定された。
2. 本選奨規定は平成 28 年 6 月 14 日より施行する。
3. 本選奨規程は平成 29 年 1 月 27 日に専門委員会により改訂された。
4. 本選奨規程は平成 29 年 3 月 23 日に専門委員会により改訂された。

以上

様式 1

・投票用紙：書式

ICTSSL研究会：選奨投票用紙

研究発表会・シンポジウムおよび論文集名： _____

氏名： _____

優秀研究賞、研究奨励賞、安全・安心ベストプラクティス賞に値するすべての発表・論文に「○」をつけてください
(複数選択可)。

| 講演 番号 | 発表題目 | 発表者名 | 優秀研究賞 | 研究奨励賞 | 安全・安心 ベストプラクティス賞 |
|----------|------|------|-------|-------|---------------------|
| | | | | — | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | — | — |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

・投票用紙：記入例

ICTSSL研究会：選奨投票用紙

研究発表会・シンポジウムおよび論文集名： 平成〇〇年総合大会一般講演（平成〇〇年〇〇月〇〇日 ×××大学）

氏名： _____

優秀研究賞、研究奨励賞、安全・安心ベストプラクティス賞に値するすべての発表・論文に「○」をつけてください
(複数選択可)。

| 講演 番号 | 発表題目 | 発表者名 | 優秀研究賞 | 研究奨励賞 | 安全・安心 ベストプラクティス賞 |
|----------|-------|-------|-------|-------|---------------------|
| (1) | | | | — | |
| (2) | | | | | |
| (3) | | | | | |
| (4) | | | — | — | — |
| (5) | | | | | |